



みよし市協働のまちづくり

市民活動サポートセンターの主な活動

- ①交流の場 ②印刷機の利用 ③情報提供
- ④相談 ⑤講座等の開催

発行:みよし市役所協働推進課 ☎32-8025

あいち NPO 市民ネットワークセンター

協働推進課長からのメッセージ



平成26年4月から協働専門監兼協働推進課長になりました久野です。みよし市では、市民と行政との協働によるまちづくりを進めています。市民の皆さまとお互いの信頼関係を築いていくことが、とても大切なことです。

本年度はアンケート調査を実施し、皆さまの活動状況とまちづくりへの想いなどをお聞きし、市民の皆さまが活動をしやすい支援をまいります。サポートセンターを市民の活動拠点として気軽にご利用ください。

みよし市の市民活動

平成25年度 市民活動

- ◆みよし市に事務所を置く NPO 団体=12 団体
高齢者福祉・障がい児福祉・環境保全・NPO 中間支援など
 - ◆25年度サポートセンター登録団体=65 団体
NPO 法人・行政区・地域総合型スポーツクラブ・自主グループなど
- *社会的に向き合う NPO 法人から、生涯学習的な自主グループまで、様々な市民活動が登録

市民活動サポートセンターの設置目的

『みよし市自治基本条例』に基づくまちづくりへの市民参加を支援することです

まちづくりへの市民参加については、市民の主体的なまちづくり、地域社会を築くルールとして「市民の一人ひとりが主体的に考え、自らの責任において行動し、市民、議会及び執行機関が相互に補完しつつ協働して、市民自治のまちづくりをめざす」市民の責務、議会の責務が定められています。また、市が目指す将来像を掲げ、それを実現するための根幹的な施策や目標値を示したみよし市のまちづくりの指針である『みよし市総合計画』でも、行政の役割と市民の役割を記載し、協働のまちづくりを進めています。

平成25年度サポートセンター事業報告

- 利用状況⇒件数（347件）
人数（714人）
- 印刷 ⇒301件
- 打合せ ⇒31件
- 資料作り⇒15件
- 相談 ⇒1件



平成26年度サポートセンター事業

- ①交流の場 ②印刷機の利用 ③情報提供 ④相談
- ⑤講座等の開催 ⑥サポセンニュースの発行
- ⑦市民活動団体の支援

情報

サポートセンター利用登録について

対象は、3人以上で構成された市民活動団体等となります。サポートセンターを利用するには、サポートセンター利用登録申請書の提出が必要です。受付は、協働推進課で随時行っています。詳しくは、**みよし市役所3F 協働推進課☎0561-32-8025**

サポートセンターに登録すると

- デジタル印刷機の使用
製版代（1版50円）
インク代（100枚につき10円）
- 交流の場所（打合せなど）
- 情報の提供（イベントの案内等の掲示や設置）
- 簡易相談（毎週土曜日 9:00~17:00）
- ※NPO・協働相談窓口（要予約⇒協働推進課）
毎月第2木曜日 13:30~16:30

25年度サポセン講座報告

延べ 30 団体 46 人が目的の実現に向け団体の活動を活性化するために、自分たちの活動をどのように伝えて、地域社会の絆やコミュニティ等と協力して、活動を広げると良いか、またメディアに取材依頼をするときの方法や、記事の書き方を 2 回の講座で学びました。3 回目は、名刺を作って団体間の交流と情報交換をしながら、団体のつながるきっかけ作りをしました。

第 1 回(2 月 18 日)講座から



メディアの特性を知り 上手に利用する

小笠原 禎司 さん
(エフエムとよた株式会社)

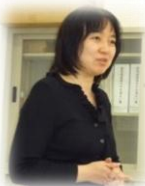
メディアには新聞(全国紙・ブロック紙)やタウン誌・ひまわりネットワーク・とよたみよしホームニュース・市広報紙などいろいろな種類があり、それぞれの特徴を知って使い分けることが効果的です。

・受講者のこえ・報道のそれぞれの特徴がよくわかりました

- ・今まで発信を考えていなかったが、これを機会に考えてみたいと思います。
- ・広報としての流れをわかりやすいお話をいただき良かったです。
- ・報道と広報の違いを初めて知りました。なるほど、発信の内容をよく考えて、どのメディアにアピールするかはとても大切です。どのように広報課とつながるかはつきりわかってとても安心しました。



第 2 回(3 月 4 日)講座から



メディアに取り上げられる 上手な 報道依頼の書き方

三島 知斗世 さん
(NPO 法人ボランタリーネイバース)

団体をどのようにメディアにアピールするといった、報道の視点を踏まえ、広報活動を進めていく上での基本ポイントは何か。報道依頼の書き方で取り上げられるか否かの差がです。コツを知り、身につけ皆さんの団体をしっかり PR してください。

・受講者のこえ・自分の団体の目的を再確認する良い機会でした

- ・文章の並べ方が解りやすく、参考になりました。
- ・団体の存在を知っていただくために、どのように伝えたらわかりやすいか、という点が考えられました。
- ・いかに今まで思いつきでしていたかを知った。大いに参考にします。
- ・外部にわかりやすく伝えるには、どうしたらよいか。また、自分たちにとっての広報の目的を考える点でもよかったです。



第 3 回(3 月 22 日)講座から



団体間の交流を通して 連携・絆・仲間・活動の 輪を広げるきっかけづくり

新谷 千晶 さん
(NPO 法人あいち NPO 市民ネットワークセンター)

団体の活動を広げるために、つながりたい団体とコンタクトを取り、自分たちの団体を活動を伝え、活動を広げるきっかけをつくりました。

・受講者のこえ・面識ができたので、声をかけるきっかけができました

- ・実際にお会いできそうな団体と出会えたこと。
- ・参加される方々の熱心さに感動しました。また交流したいと思いました。
- ・時期は 3 月か、役員交代の後の 4 月か 5 月が良い。団体の数が思ったより多いので、もっと交流会を開いたらどうか。
- ・普段交流できない団体を知ることができ良かったです。

